

答申案の修正前後対照表

修正箇所は、下線を引いてあります。

修正前	修正後
(案)	(案)
八尾市における今後の保育所のあり方について (答申)	八尾市における今後の保育所のあり方について (答申)
八尾市児童福祉審議会 平成()年 月	八尾市児童福祉審議会 平成()年 月
目次	目次
はじめに 1 諮問事項1 保育所入所待機状況への対応について 2 諮問事項2 保育所における多様な保育ニーズへの対応について 6 おわりに 10 資料 諮問文 11 八尾市児童福祉審議会の審議経過 12	はじめに 1 諮問事項1 保育所入所待機状況への対応について 2 諮問事項2 保育所における多様な保育ニーズへの対応について 6 おわりに 10 資料 諮問文 11 八尾市児童福祉審議会の審議経過 12

八尾市児童福祉審議会委員名簿	1 3	八尾市児童福祉審議会委員名簿	1 3
八尾市児童福祉審議会規則	1 4	八尾市児童福祉審議会規則	1 4
八尾市保育所申請・入所状況	1 6	八尾市保育所申請・入所状況	1 6
保育所入所選考順位	1 7	保育所入所選考順位	1 7
八尾市保育所運営経費の決算額推移	1 8	八尾市保育所運営経費の決算額推移	1 8
平成13年度保育所運営経費の内訳	1 9	平成13年度保育所運営経費の内訳	1 9
八尾市保育所職員の平均年齢と年齢構成	2 0	八尾市保育所職員の平均年齢と年齢構成	2 0
八尾市保育所職員の経験年数	2 1	八尾市保育所職員の経験年数	2 1
八尾市保育所の保育士配置基準	2 2	八尾市保育所の保育士配置基準	2 2
就学前児童数及び保育所入所需要の推移予測	2 3	就学前児童数及び保育所入所需要の推移予測	2 3
大阪府下における待機児童の解消策	2 4	<u>八尾市の財政収支見通し</u>	<u>2 4</u>
八尾市の財政収支見通し	2 5	<u>大阪府下における待機児童の解消策</u>	<u>2 5</u>
八尾市保育所定員の推移	2 6	<u>仮称大正地域保育所の概要</u>	<u>2 6</u>
仮称大正地域保育所の概要	2 7	<u>八尾市保育所定員の推移</u>	<u>2 7</u>
保育所(園)における子育て相談の内容別件数	2 8	保育所(園)における子育て相談の内容別件数	2 8
特別保育事業及びその実施状況	2 9	特別保育事業及びその実施状況	2 9
会議で出された意見の概要	3 1	会議で出された意見の概要	3 1
国の子育てに関わる施策	3 2	<u>一時保育事業の実施状況</u>	<u>3 2</u>
		<u>禮 国の子育てに関わる施策</u>	<u>3 3</u>
はじめに		はじめに	
当審議会は、平成15年6月15日に八尾市長より「八尾市における今後の保育所のあり方について」諮問を受けた。諮問の内容は「保育所		当審議会は、平成15年6月15日に八尾市長より「八尾市における今後の保育所のあり方について」諮問を受けた。諮問の内容は「保育所	

入所待機状況への対応について」及び「保育所における多様な保育ニーズへの対応について」の2点である。

当審議会の各委員は、市民公募の委員を含め、それぞれ専門的な立場から参画しており、その専門的な見地から上記の諮問内容について現行制度を前提として議論を行った。

しかしながら、児童福祉、とりわけ保育行政をめぐる動きは、国における制度改革もあり、その動向は流動的であるものと思慮され、今後の八尾市における保育行政のあり方を決定するうえで不確定な要素が存在することも否定できないので、社会状況の変化を的確に把握し、その時々で適切な対応がなされなければならない。

また、八尾市では福祉という枠組み全体の中での児童福祉を考えていく必要があり、少子高齢化の進展の中で、今後の社会福祉全般を視野に入れた検討も望まれる。

当審議会は、ここに諮問に対する答申を提出するわけであるが、本答申を提出するに当たり、八尾市に対して、本答申の内容を十分に尊重され、今後の保育所運営が適切に行われるよう期待するものである。

諮問事項1 保育所入所待機状況への対応について

八尾市の保育所入所に関する現状は、昨今の景気の低迷や女性の社会進出などの社会経済状況を反映して、保育所への入所希望が年々増大し、この保育需要に対する実際の保育所入所児童数も増加しているもの

入所待機状況への対応について」及び「保育所における多様な保育ニーズへの対応について」の2点である。

当審議会の各委員は、市民公募の委員を含め、それぞれ専門的な立場から参画しており、その専門的な見地から上記の諮問内容について現行制度を前提として議論を行った。

しかしながら、児童福祉、とりわけ保育行政をめぐる動きは、国における制度改革もあり、その動向は流動的であるものと思慮され、今後の八尾市における保育行政のあり方を決定するうえで不確定な要素が存在することも否定できないので、社会状況の変化を的確に把握し、その時々で適切な対応がなされなければならない。

また、八尾市では福祉という枠組み全体の中での児童福祉を考えていく必要があり、少子高齢化の進展の中で、今後の社会福祉全般を視野に入れた検討も望まれる。

当審議会は、ここに諮問に対する答申を提出するわけであるが、本答申を提出するに当たり、八尾市に対して、本答申の内容を十分に尊重され、今後の保育所運営が適切に行われるよう期待するものである。

諮問事項1 保育所入所待機状況への対応について

八尾市の保育所入所に関する現状は、昨今の景気の低迷や女性の社会進出などの社会経済状況を反映して、保育所への入所希望が年々増大し、この保育需要に対する実際の保育所入所児童数も増加しているもの

の全ての需要を満たすだけの供給が存在せず、多くの児童が保育所への入所待ちの状況にある。(資料)

また、子どもの保育所入所を希望している保護者の状況にも様々なものがあり、八尾市では、保育所への入所の決定に際して、前回の児童福祉審議会で答申された入所選考基準をもとにして、入所選考を行っている。(資料)

八尾市ではこのような状況への対応策として、社会福祉法人立の私立保育所を中心に定員外入所を進めるとともに、施設整備に併せて定員の増加も行い、さらには、新たな保育所の創設も行っているが、現実には対応を上回る需要が発生しており、現在の対応だけでは不十分なものと考えられる。

一方、八尾市の保育所の運営に係る費用とその財源内訳は、保育所への入所児童1人当たりの年間所要経費を保育所の運営主体別に平成13年度決算で比較すれば、公立保育所は私立保育所の約2倍となっており、財源内訳の中で児童1人当たりの八尾市の税負担は、公立保育所は私立保育所の約3.5倍であり、公立保育所へより多くの市税が投入されている。財政的に見れば、公立保育所は私立保育所よりも多額の費用が必要であり、市税の配分から見ても不均衡なものとなっている。(資料、)

この原因は、公立保育所の人件費に係るところが大きく、公立保育所の保育士の平均年齢が私立保育所に比べ高いことや在職年数が私立保育所に比べ長いこと、さらには、保育士の配置人数が私立保育所に比べ多いためである。保育サービスにおいて、保育士の経験は重要であり、勤続年数が長い保育士の存在は必要ではあるが、これが公立保育所の運営を圧迫していることも確かである。(資料、)

今後の対応については、児童数の見込、八尾市の財政状況などを勘案すれば、保育所入所の需要全てを即座に満たすだけの供給を確保するこ

の全ての需要を満たすだけの供給が存在せず、多くの児童が保育所への入所待ちの状況にある。(資料)

また、子どもの保育所入所を希望している保護者の状況にも様々なものがあり、八尾市では、保育所への入所の決定に際して、前回の児童福祉審議会で答申された入所選考基準をもとにして、入所選考を行っている。(資料)

八尾市ではこのような状況への対応策として、社会福祉法人立の私立保育所を中心に定員外入所を進めるとともに、施設整備に併せて定員の増加も行い、さらには、新たな保育所の創設も行っているが、現実には対応を上回る需要が発生しており、現在の対応だけでは不十分なものと考えられる。

一方、八尾市の保育所の運営に係る費用とその財源内訳は、保育所への入所児童1人当たりの年間所要経費を保育所の運営主体別に平成13年度決算で比較すれば、公立保育所は私立保育所の約2倍となっており、財源内訳の中で児童1人当たりの八尾市の税負担は、公立保育所は私立保育所の約3.5倍であり、公立保育所へより多くの市税が投入されている。財政的に見れば、公立保育所は私立保育所よりも多額の費用が必要であり、市税の配分から見ても不均衡なものとなっている。(資料、)

この原因は、公立保育所の人件費に係るところが大きく、公立保育所の保育士の平均年齢が私立保育所に比べ高いことや在職年数が私立保育所に比べ長いこと、さらには、保育士の配置人数が私立保育所に比べ多いためである。保育サービスにおいて、保育士の経験は重要であり、勤続年数が長い保育士の存在は必要ではあるが、これが公立保育所の運営を圧迫していることも確かである。(資料、)

今後の対応については、児童数の見込、八尾市の財政状況などを勘案すれば、保育所入所の需要全てを即座に満たすだけの供給を確保するこ

とは極めて困難であると考えられる。(資料、__)

当面、保育所入所で待機している児童のうち、保育所入所の選考区分のC区分までの児童(平成15年度で約330人)が保育所へ入所できるよう取り組むべきである。

保育所入所の待機状況への具体的な対応策は、大阪府下各市における取り組みも参考にしながら、八尾市の財政状況も考慮する必要があるため、財政的な制約があることを念頭に入れ検討を行った。(資料、__)

その結果、当審議会は保育所入所待機状況への対応策として、以下の提案を行う。

従来から八尾市で実施してきた次の対応策についても引き続き取り組んでいく。

- ・ 既存保育所における定員外入所の推進
- ・ 既存保育所における定員増
- ・ 認可保育所の創設

また、従来の取り組みでは限界があるので、保育所への入所児童数の一層の拡大、多様化する保育ニーズへの対応、さらには、保育所運営経費の増大を抑制していく必要性などから、以下の方策についても取り組むべきである。

- ・ 無認可保育所の認可化
- ・ 保育所分園の設置
- ・ 保育士配置基準の見直し(国基準の採用)
- ・ 公立保育所の民営化

以下に、各個別対応策の内容を明記しておく。

とは極めて困難であると考えられる。(資料、__)

当面、保育所入所で待機している児童のうち、保育所入所の選考区分のC区分までの児童(平成15年度で約330人)が保育所へ入所できるよう取り組むべきである。

保育所入所の待機状況への具体的な対応策は、大阪府下各市における取り組みも参考にしながら、八尾市の財政状況も考慮する必要があるため、財政的な制約があることを念頭に入れ検討を行った。(資料、__)

その結果、当審議会は保育所入所待機状況への対応策として、以下の提案を行う。

従来から八尾市で実施してきた次の対応策についても引き続き取り組んでいく。

- ・ 認可保育所の創設
- ・ 既存保育所における定員増
- ・ 既存保育所における定員の弾力的運用の推進

また、従来の取り組みでは限界があるので、保育所への入所児童数の一層の拡大、多様化する保育ニーズへの対応、さらには、保育所運営経費の増大を抑制していく必要性などから、以下の方策についても取り組むべきである。

- ・ 無認可保育所の認可化
- ・ 保育所分園の設置
- ・ 保育士配置基準の見直し(国基準の採用)
- ・ 公立保育所の民営化

以下に、各個別対応策の内容を明記しておく。

<p>(ア) 既存保育所における定員外入所の推進 八尾市では既存保育所の定員外入所について私立保育所を中心に進めてきている。(資料)</p> <p>年度途中では最低基準を満たす範囲内で定員外入所数に対する制限が緩和されているので、可能な範囲内で定員外の入所をさらに推進する。</p> <p>なお、公立保育所における定員外入所も平成14年度から開始されたが、既存の人的・物的資源の活用により定員外入所へ一層取り組んでいく。</p> <p>(イ) 既存保育所における定員増 八尾市では、私立保育所を中心に、施設の増改築に併せて定員の増を実施してきている。(資料)</p> <p>施設の増改築に当たっての定員の増は、国庫負担補助を獲得する上でも不可欠なものとなってきているので、引き続き、施設の増改築に併せた定員の増に取り組んでいく。</p> <p>一方、増改築を伴わず既存施設のままで定員の増が可能な施設があれば、積極的に当該施設における定員の増を進める。</p> <p>(ウ) 認可保育所の創設 八尾市では、平成16年度当初の開設を目指した私立保育所の創設を進めている(資料)</p> <p>保育所入所児童数の絶対数を増やすには、新たな保育所創設が有効であるが、保育所入所待機状況への他の対応策の取り組み状況とその効果を踏まえながら、既存認可保育所の配置状況や保育所利用者の利便性等も考慮し、認可保育所の創設を行う。</p>	<p>下線は修正後の(ウ)と比較したもの</p>	<p>1 継続して取り組むもの</p> <p>(ア) 認可保育所の創設 八尾市では、平成16年度当初の開設を目指した私立保育所の創設を進めている。(資料)</p> <p>保育所入所児童数の絶対数を増やすには、新たな保育所創設が有効であるが、保育所入所待機状況への他の対応策の取り組み状況とその効果を踏まえながら、既存認可保育所の配置状況や保育所利用者の利便性等も考慮し、認可保育所の創設を行う。</p> <p>(イ) 既存保育所における定員増 八尾市では、私立保育所を中心に、施設の増改築に併せて定員の増を実施してきている。(資料)</p> <p>施設の増改築に当たっての定員の増は、国庫負担補助を獲得する上でも不可欠なものとなってきているので、引き続き、施設の増改築に併せた定員の増に取り組んでいく。</p> <p>一方、増改築を伴わず既存施設のままで定員の増が可能な施設があれば、積極的に当該施設における定員の増を進める。</p> <p>(ウ) 既存保育所における定員の弾力的運用の推進 八尾市では既存保育所の定員外入所について私立保育所を中心に進めてきている。(資料)</p> <p>公立保育所においても定員の弾力的運用を平成14年度から開始されたが、既存の人的・物的資源の活用により一層取り組んでいく。</p> <p>年度途中では最低基準を満たす範囲内で定員外入所数に対する制限が緩和されているので、可能な範囲内で入所をさらに推進する。</p>	<p>下線は修正前の(ア)と比較したもの</p>
---	--------------------------	--	--------------------------

<p>(I) 無認可保育所の認可化</p> <p>保育所入所待機状況にある児童のうち、無認可保育所で保育されている児童もある。また、無認可保育所は、大阪府への届出が義務付けられており、大阪府も立ち入り検査を実施し、その指導監督を行っている。</p> <p>保育所の認可は、大阪府が行うものであり、八尾市には認可の権限がないが、無認可保育所から認可化の申請が大阪府に提出されれば、国の最低基準や認可化を申請された施設の周辺地域における保育所入所需要と既存認可保育所の状況等を考慮し、認可化を支援する。</p> <p>(オ) 保育所分園の設置</p> <p>保育所分園の設置は、国で制度が見直され、設置の条件が緩和されており、既存認可保育所の配置状況を考慮しながら、保育所入所需要の多い地域を中心に保育所分園の設置を促進する。</p> <p>(カ) 保育士配置基準の見直し（国基準の採用）</p> <p>八尾市では、児童の年齢別に国が定めている保育士配置基準とは異なる基準により保育士を配置しているが、国の基準との乖離は公立保育所ほど大きくなっている。（資料 ）</p> <p>児童の年齢を考慮しながら、原則として国の定めた児童福祉施設最低基準に沿った保育士の配置を行う。</p> <p>(キ) 公立保育所の民営化</p>	<p><u>なお、定員の弾力的運用は、待機状況への緊急的対応であり、保育環境を総合的に勘案しながら進める。</u></p> <p><u>2 新たに取り組むべきもの</u></p> <p>(ア) 無認可保育所の認可化</p> <p>保育所入所待機状況にある児童のうち、無認可保育所で保育されている児童もある。また、無認可保育所は、大阪府への届出が義務付けられており、大阪府も立ち入り検査を実施し、その指導監督を行っている。</p> <p>保育所の認可は、大阪府が行うものであり、八尾市には認可の権限がないが、無認可保育所から認可化の申請が大阪府に提出されれば、国の最低基準や認可化を申請された施設の周辺地域における保育所入所需要と既存認可保育所の状況等を考慮し、認可化を支援する。</p> <p>(イ) 保育所分園の設置</p> <p>保育所分園の設置は、国で制度が見直され、設置の条件が緩和されており、既存認可保育所の配置状況を考慮しながら、保育所入所需要の多い地域を中心に保育所分園の設置を促進する。</p> <p>(ウ) 保育士配置基準の見直し（国基準の採用）</p> <p>八尾市では、児童の年齢別に国が定めている保育士配置基準とは異なる基準により保育士を配置しているが、国の基準との乖離は公立保育所ほど大きくなっている。（資料 ）</p> <p>児童の年齢を考慮しながら、原則として国の定めた児童福祉施設最低基準に沿った保育士の配置を行う。</p> <p>(エ) 公立保育所の民営化</p>
---	---

公立保育所と私立保育所の双方とも児童福祉法、保育指針及び児童福祉施設最低基準に基づいて運営されており、公立保育所と私立保育所では保育内容に差はないが、運営経費には差がある。

限られた財源の中で、保育所入所児童数の拡大を図り、多様な保育ニーズに応えていくには、財政的な効率性の観点も忘れてはならない。

上記で提案した取り組みにより入所児童数の増加を図るには、より多くの経費が必要となるが、八尾市の財政状況から保育所運営経費の増大を抑制することが不可欠であるため、複数の公立保育所の民営化に取り組んでいく。

さらに、公立保育所の民営化により生み出された財源は、保育所入所の待機状況の解消と多様な保育ニーズへの対応施策の財源として活用する。

公立保育所と私立保育所の双方とも児童福祉法、保育指針及び児童福祉施設最低基準に基づいて運営されており、公立保育所と私立保育所では保育内容に差はないが、運営経費には差がある。

限られた財源の中で、保育所入所児童数の拡大を図り、多様な保育ニーズに応えていくには、財政的な効率性の観点も忘れてはならない。

上記で提案した取り組みにより入所児童数の増加を図るには、より多くの経費が必要となるが、八尾市の財政状況から保育所運営経費の増大を抑制することが不可欠であるため、複数の公立保育所の民営化に取り組んでいく。

さらに、公立保育所の民営化により生み出された財源は、保育所入所の待機状況の解消と多様な子育て支援ニーズへの対応施策の財源として活用する。

諮問事項2 保育所における多様な保育ニーズへの対応について

生活スタイルや親の就業形態の多様化、さらには子どもを取り巻く状況の変化などに伴い、保育所における保育ニーズにも延長保育、一時保育、子育て相談など様々なものが出てきている。(資料)

八尾市ではこのような状況に対し、国の特別保育事業の制度を活用して取り組んできているが、私立保育所での取り組みが公立保育所での取り組みに比べ充実している。(資料)

また、私立保育所は特別保育事業を公立保育所に比べ多く実施しているにもかかわらず、児童1人当たりの運営経費は公立保育所の2分の1である。

当審議会は、このような状況を踏まえ、保育所における多様な保育ニーズへの対応に関して各委員から出された考えや意見を集約し、検討を行った。(資料)

特に、保育所における多様な保育ニーズについては、社会経済状況や国の児童福祉に関する施策の変化が激しく、これらの外的要因により、保育所における保育ニーズも時間とともに変化するものと考えられる。

したがって、保育所における多様な保育ニーズへの対応策を当審議会から提案するが、今後八尾市において具体の対応を進めていく場合、次の諸点を念頭に置いた検討を望むものである。

諮問事項2 保育所における多様な保育ニーズへの対応について

生活スタイルや親の就業形態の多様化、さらには子どもを取り巻く状況の変化などに伴い、保育所における保育ニーズにも延長保育、一時保育、子育て相談など様々なものが出てきている。(資料)

八尾市ではこのような状況に対し、国の特別保育事業の制度を活用して取り組んできているが、私立保育所での取り組みが公立保育所での取り組みに比べ充実している。(資料)

また、私立保育所は特別保育事業を公立保育所に比べ多く実施しているにもかかわらず、児童1人当たりの運営経費は公立保育所の2分の1である。

当審議会は、このような状況を踏まえ、保育所における多様な保育ニーズへの対応に関して各委員から出された考えや意見を集約し、検討を行った。(資料)

特に、保育所における多様な保育ニーズについては、社会経済状況や国の児童福祉に関する施策の変化が激しく、これらの外的要因により、保育所における保育ニーズも時間とともに変化するものと考えられる。

したがって、保育所における多様な保育ニーズへの対応策を当審議会から提案するが、今後八尾市において具体の対応を進めていく場合、次の諸点を念頭に置いた検討を望むものである。

保育所に対する住民のニーズは、生活状況などにより変化し、多様化していくものと考えられるので、ニーズの的確な把握に努める必要がある。

保育所は地域福祉を担う機関として、地域の社会資源として機能すべきである。

国・大阪府では、多様化した保育ニーズへ対応するため、様々な事業メニューを制度化しているので、それらの制度の中から八尾市にとって有効なものを見極め、その活用を図るべきである。

保育所を取り巻く状況には厳しいもの（障害児保育に係る国庫補助金の一般財源化など）があり、従来の考え方にとらわれずに保育所運営を考えていく必要がある。

保育所における多様な保育ニーズに応えていくには財源が必要であり、八尾市の財政状況を総合的に勘案しながら、現実的な対応を考えていく必要がある。

多様化した保育ニーズへの対応は、ニーズ量や地域的なバランスを考慮し、サービスを提供する施設数を決定すべきである。

保育所に対する住民のニーズは、生活状況などにより変化し、多様化していくものと考えられるので、ニーズの的確な把握に努める必要がある。

保育所は地域福祉を担う機関として、地域の社会資源として機能すべきである。

国・大阪府では、多様化した保育ニーズへ対応するため、様々な事業メニューを制度化しているので、それらの制度の中から八尾市にとって有効なものを見極め、その活用を図るべきである。

保育所を取り巻く状況には厳しいもの（国庫補助金の一般財源化の動向など）があり、従来の考え方にとらわれずに保育所運営を考えていく必要がある。

保育所における多様な保育ニーズに応えていくには財源が必要であり、八尾市の財政状況を総合的に勘案しながら、現実的な対応を考えていく必要がある。

多様化した保育ニーズへの対応は、ニーズ量や地域的なバランスを考慮し、サービスを提供する施設数を決定すべきである。

以下に、各個別対応策の内容を明記しておく。

(ア) 多様なサービス供給主体との協働

多様化した保育ニーズへ対応していくためには、保育所では物的・人的な資源の制約がある。

多様な保育サービスの提供主体として、地域社会における子育て支援機能を活用し、ボランティア、NPO、地域の団体等との協働を推進す

以下に、諮問事項2に対する提案内容を包括的に明記しておく。

(ア) 多様なサービス供給主体との協働

多様化した保育ニーズへ対応していくためには、保育所では物的・人的な資源の制約がある。

多様な保育サービスの提供主体として、地域社会における子育て支援機能を活用し、ボランティア、NPO、地域の団体等との協働を推進す

る。

(イ) 短時間保育への取り組み

児童の保育に欠ける時間が比較的短時間ではあるが、保育所入所を希望する保護者は多く、これらの児童の多くは保育所入所の待機状況にある。

また、就労形態の多様化などから、短時間の保育サービスを望む保護者は増加傾向にあり、短時間保育の必要性は益々高まっている。

保育所入所の待機状況の緩和を図るとともに、保育に欠ける時間が比較的短時間である児童への対応策として、特定保育事業に取り組んでいく。

(ウ) 子育て家庭との関わり

保育所では、保育所入所児童に対する保育サービスの提供はもとより、地域福祉を担う一つの機関として、地域での子育て支援の拠点施設としての機能が求められるため、在宅での子育て中の児童も含めた子育て支援を行う。

また、核家族化の進展などにより、子育てに不安を抱く保護者も多く、保育所は、児童を保育するだけでなく、子育て中の親の親育ちへの支援も行う。(資料)

(I) 公立保育所における対応

公立保育所では、経験豊かな保育士が多く、その保育士が培ったノウハウを積極的に活用し、子育て支援を行う。

る。

(イ) 短時間保育及び一時保育への取り組み

児童の保育に欠ける時間が比較的短時間ではあるが、保育所入所を希望する保護者は多く、これらの児童の多くは保育所入所の待機状況にある。

また、就労形態の多様化などから短時間の保育サービスを望む保護者や緊急・一時保育を希望する保護者は増加傾向にある。(資料)

引き続き、一時的な保育や緊急の保育需要に対応していくため、一時保育事業の取り組みを進める。

さらに、保育に欠ける時間が比較的短時間である児童への対応策として、特定保育事業に取り組み、併せて保育所入所の待機状況の緩和を図る。

(ウ) 子育て家庭との関わり

保育所では、保育所入所児童に対する保育サービスの提供はもとより、地域福祉を担う一つの機関として、地域での子育て支援の拠点施設としての機能が求められるため、在宅での子育て中の児童も含めた子育て支援を行う。

また、少子化や核家族化などにより、子育てに不安を抱く保護者も多く、保育所は、児童を保育するだけでなく、子育て中の親の親育ちへの支援も行う。(資料)

(I) 公立保育所における対応

公立保育所では、経験豊かな保育士が多く、その保育士が培ったノウハウの共有をさらに進めるとともに、そのノウハウを積極的に活用し、

しかし、保育士の平均年齢の高さや在職年数の長さが、保育所運営経費が増大する原因の一つでもあるので、公立保育所では保育士の年齢構成のバランスを考え、公立保育所の民営化の動向も踏まえながら、公立保育所における保育士の採用計画を立案する。(資料 、)

また、費用対効果を考慮して、特別保育等の多様な保育ニーズに応えていく。

(オ) 私立保育所を中心にした対応

保育所における多様なニーズへは迅速な取り組みが求められ、社会状況や環境変化への対応の柔軟性、即応性及び効率性から、多様な保育サービスの提供や多様なニーズへの対応は、私立保育所を中心に進める。

なお、私立保育所は、保育士が経験年数の短い者に偏りがちであるが、保育のノウハウを施設として蓄積し、共有するよう努めるとともに、積極的に研修を行うなど保育士の資質の維持向上に努める。(資料 、)

子育て支援を行う。

しかし、保育士の平均年齢の高さや在職年数の長さが、保育所運営経費が増大する原因の一つでもあるので、公立保育所では保育士の年齢構成のバランスを考え、公立保育所の民営化の動向も踏まえながら、公立保育所における保育士の採用計画を立案する。(資料 、)

また、費用対効果を考慮して、特別保育等の多様な保育ニーズに応えていく。

(オ) 私立保育所を中心にした対応

保育所における多様なニーズへは迅速な取り組みが求められ、社会状況や環境変化への対応の柔軟性、即応性及び効率性から、多様な保育サービスの提供や多様なニーズへの対応は、私立保育所を中心に進める。

なお、私立保育所は、保育士が経験年数の短い者に偏りがちであるが、より質の高い保育サービスを提供するため、保育のノウハウを施設として蓄積し、共有するよう努めるとともに、積極的に研修を行うなど保育士の資質の維持向上に努める。(資料 、)

おわりに

当審議会は、平成15年6月15日に八尾市長より「八尾市における今後の保育所のあり方について」諮問を受け、以降、毎月1回の審議を重ねてきた。

審議では全委員が一致して合意に達したものでない内容もあったが、概ね大多数の委員から賛同が得られた内容をもとに本答申をまとめている。

また、子育て支援は保育所のみが担任するものではなく、審議の途上でも、保育所から離れた子育て支援について、子育て支援センター事業や子育て総合支援ネットワークセンター事業などに言及される場面もあった。

したがって、今後八尾市において、保育所を拠点とした子育て支援を検討されるときは、子育て支援施策全体の中における保育所の役割という視点から検討することが必要であると思慮されることである。

周知のように、子どもを取り巻く環境は、刻々と変化し、各種制度もめまぐるしく変更されている。国でも、平成6年度のエンゼルプラン策定、平成11年度の新エンゼルプラン策定、平成14年度の少子化対策プラスワンの取りまとめ、そして平成15年度の次世代育成支援対策推進法の制定と、様々な取り組みがなされているところである。(資料)

このような中で、当審議会は答申を提出するわけであるが、最後に保育所に係わる八尾市の役割について言及しておく。

今後とも八尾市は、認可保育所の利用者に対して、児童福祉法に基づき、子どもの最善の利益を考慮し、各保育所で提供されるサービスについて責任を持たなければならない。また、保育所の設置運営主体にかかわらず、保育の内容や水準は国の定めた基準を満たすものでなければならないので、保育内容等がどのような状況にあるのか、公立保育所に関

おわりに

当審議会は、平成15年6月15日に八尾市長より「八尾市における今後の保育所のあり方について」諮問を受け、以降、毎月1回の審議を重ねてきた。

審議では全委員が一致して合意に達したものでない内容(保育士配置基準の見直し、公立保育所の民営化)もあったが、概ね大多数の委員から賛同が得られた内容をもとに本答申をまとめている。

また、子育て支援は保育所のみが担当するものではなく、審議の途上でも、保育所以外の機関における子育て支援について、子育て支援センター事業や子育て総合支援ネットワークセンター事業などに言及される場面もあった。

したがって、今後八尾市において、保育所を拠点とした子育て支援を検討されるときは、子育て支援施策全体の中における保育所の役割という視点から検討することが必要であると思慮されることである。

周知のように、子どもを取り巻く環境は、刻々と変化し、各種制度もめまぐるしく変更されている。国でも、平成6年度のエンゼルプラン策定、平成11年度の新エンゼルプラン策定、平成14年度の少子化対策プラスワンの取りまとめ、そして平成15年度の次世代育成支援対策推進法の制定と、様々な取り組みがなされているところである。(資料)

このような中で、当審議会は答申を提出するわけであるが、最後に保育所に係わる八尾市の役割について言及しておく。

今後とも八尾市は、認可保育所の利用者に対して、児童福祉法に基づき、子どもの最善の利益を考慮し、各保育所で提供されるサービスについて責任を持たなければならない。また、保育所の設置運営主体にかかわらず、保育の内容や水準は国の定めた基準を満たすものでなければならないので、保育内容等がどのような状況にあるのか、公立保育所に関

しては八尾市自らが保育内容等を評価・点検し、私立保育所に関しては私立保育所と情報交換を密にするなどして保育内容等の把握に努めなければならない。

しては八尾市自らが利用者や市民の声を踏まえつつ保育内容等を評価・点検し、私立保育所に関しては私立保育所と情報交換を密にするなどして保育内容等の把握に努めなければならない。